

# Niigata Forestry Magazine

にいがた山しごと情報誌

Vol.5

## 森林・林業に興味のある方必見!

林業に就業するための  
アドバイスが満載です

【掲載事業体】

頸南森林組合  
若月建設株式会社  
津南町森林組合

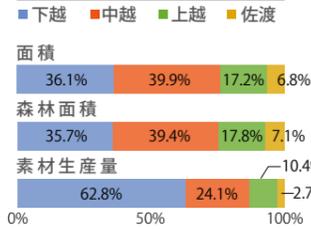
TAKE FREE!

# 新潟県内地域別 森林・林業の特徴

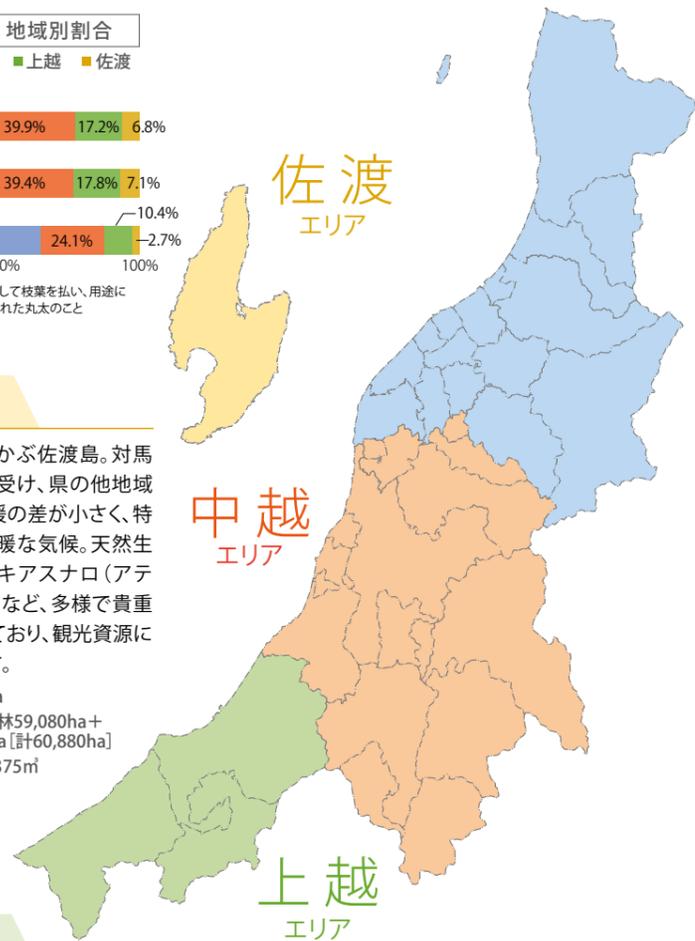
新潟県は南北に広く、海・山・島と自然環境もさまざま。  
だから、「新潟の森林・林業」とひとくくりにするのは難しい話です。  
まずは地域別の特徴がどうなのかをみましょう！

参考：地域森林計画変更計画書（新潟県、平成29年1月10日公表）

## 森林データ 地域別割合



※素材とは、立木を伐採して枝葉を払い、用途に合った長さに切り分けられた丸太のこと



## 下越 エリア

### 下越

北東部の岩船や東蒲原は、林業生産活動が活発で、森林・林業が地域の社会・経済に深くかかわっている地域。南部には、木材等林産物の県内最大消費地である新潟市があります。また、人工林の割合が30.1%と比較的高いことも特徴です。（県平均は24.4%）

- 面積:454,321ha
- 森林面積:民有林158,323ha+ 国有林147,515ha [計305,838ha]
- 素材生産量:54,596m<sup>3</sup>

## 中越

豪雪地帯として知られる中越地域は、県内4地域の中でもっとも広い森林面積を有します。保安林の面積も65,531haと非常に多く、天然林は貴重で豊かな自然を形成しており、水源涵養（かんよう）や山地災害防止などの公益的機能が期待されます。魚沼地方ではきのこの生産活動も活発です。

- 面積:501,957ha
- 森林面積:民有林232,539ha+ 国有林104,783ha [計337,322ha]
- 素材生産量:20,988m<sup>3</sup>

## 佐渡

日本海上に浮かぶ佐渡島。対馬暖流の影響を受け、県の他地域に比べると温暖の差が小さく、特に南西部は温暖な気候。天然生のスギやヒノキアスナロ（アテビ）が自生するなど、多様で貴重な自然が残っており、観光資源にもなっています。

- 面積:85,561ha
- 森林面積:民有林59,080ha+ 国有林1,800ha [計60,880ha]
- 素材生産量:2,375m<sup>3</sup>

## 上越

豊かな自然が多く、景勝地に恵まれている上越地域。妙高山麓が森林セラピー基地・ロードに認定されるなど、森林の保健、レクリエーション的な活用が活発な地域です。一方で、地形が脆弱であることなどから、国内でも有数の地すべり多発地帯と言われています。

- 面積:216,568ha
- 森林面積:民有林115,144ha+ 国有林37,416ha [計152,560ha]
- 素材生産量:9,041m<sup>3</sup>

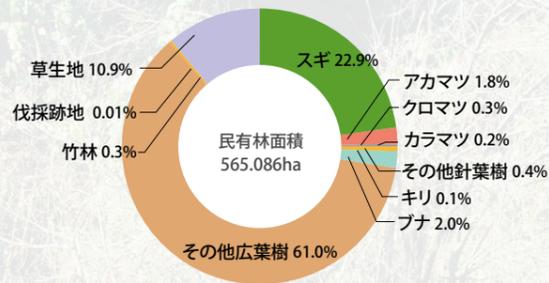
## Topics

### なぜ新潟県ではヒノキを植えないの？

ヒノキは、優良な木材がとれるため、日本では古くから造林樹種として利用されてきました。ただ、新潟県においては、造林樹種として知られているのはスギが主で、ヒノキは基本的に植えられていません。これは、雪により漏脂病と呼ばれる幹の病気を発症するためです。雪の重みで生じ

た細かな傷から原因菌が侵入し、傷口から樹脂を流出させます。ひどくなると傷口周辺が壊死し、幹が変形したり材がむき出しになったりします。やがて木材腐朽菌が侵入し、材の変色や腐れを引き起こすことで木材としての利用価値がなくなってしまうのです。

### 新潟県内民有林面積 樹種別割合



## 発刊に当たって

（公社）新潟県農林公社林政部長 古川洋次

林業における「酉年

平成29年は酉年、酉とはニワトリのことを指しており、夜明けを知らせる鳴き声から、中国では吉兆をもたらす動物とされています。

また、「酉」の字にはもともと果実が熟してきた状態という意味があり、種が実り、刈り取る時期、これまでの努力が報われる時期として、酉年は商売繁盛にして収穫となる時の意味合いがあるようです。

森林・林業においては今まさに酉年、収穫の時を迎えているのです。

先の大戦では戦中・戦後を通して大量の森林伐採が行われました。その結果、昭和20年代に入ると台風等の豪雨によって、土砂崩れや洪水が頻繁に発生し、各地に大きな被害をもたらしたことから、国を挙げた国土緑化が進みました。高度経済成長下の木材需要の高まりと木材価格の上昇もあって、スギなどの針葉樹の造林が急速に広がり、全国で約1千万ha、本県では約14万haの人工林が造成され、その多くは間伐等の保育が必要な育成段階にあるものの、伐採して木材として利用可能となる概ね50年生以上の人工林が年々増加してきています。

これまでの種をまき（植栽）、それを育てて（下刈りや枝打ち）いた時代は殆どの作業が人力でしたので、道路や大きな機械がなくても作業は可能でしたが、木を伐採して活用するためには、道の整備や伐採、運搬等を行う高性能林業機械を使った作業が主体となっていて、木材の有利販売やコスト計算も含めて、以前の林業作業とは様変わりしています。このことはつまり、儲かる林業（儲けることができる）と言った方が正解かもしれません）が実現していく時代に入ってきたということなのです。

当県の素材生産量は全国的に見れば低位であり、素材生産に携わる林業従事者の充実が重要となっているところなのです。

新潟県林業労働力確保支援センターでは、林業に関する専門的な知識が無くても、林業事業体に就業した人を対象に三年間に渡り林業に必要な知識や資格、技能を習得してもらったための研修会を実施しています。

林業をあまりよく知らないという方でも安心して県内の林業事業体の門をたたいていただければ幸いです。

## 目次

新潟県内地域別森林・林業の特徴…………… p.1

森で働く3ステップ…………… p.2

### STEP01 情報収集

（WOOD JAM / 新規就農・就業チャレンジフェア）…………… p.4

### STEP02 林業体験その1

（林業就業支援講習）…………… p.6

### STEP02 林業体験その2

（WOOD JOB！ 森の仕事体験「青少年体験合宿」）…………… p.8

### STEP03 就業〜森の担い手へ

（緑の雇用 現場技能者育成研修「1年目子エーンシー講習」）…………… p.10

## 【林業事業体レポート】

● 頸南森林組合…………… p.12

● 若月建設株式会社…………… p.16

● 津南町森林組合…………… p.20

林業労働力確保支援センター紹介…………… p.24

# 森で働く3ステップ

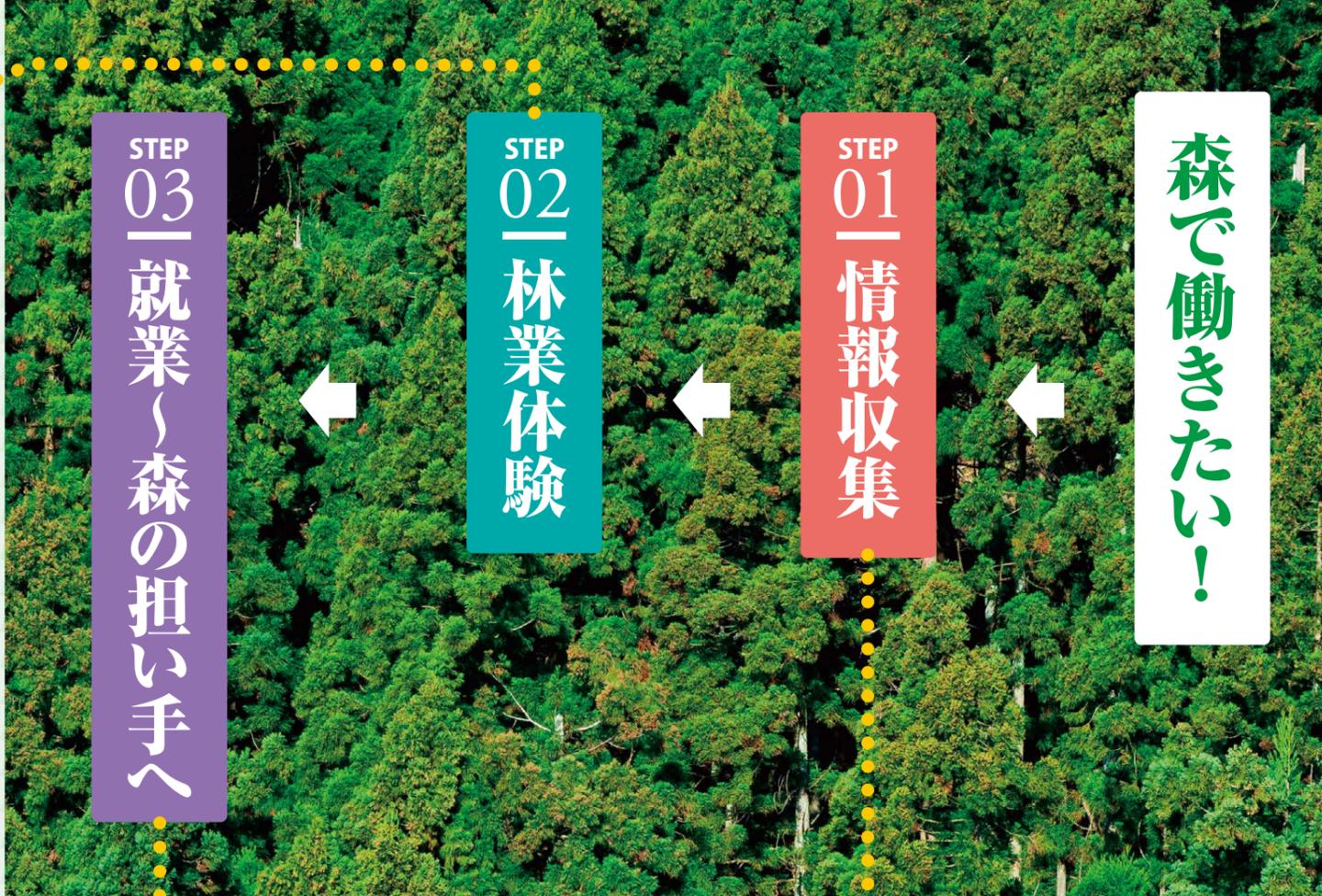
## 森で働きたい！

森で働いてみたいけど、何をしたらよいかわからない……。そんな人のために、就業に向けた各ステップに合わせたイベントや研修をここで紹介します。さらに、この後のページでは平成28年度に実施された各イベント・研修の様子を紹介しています。気になった項目はチェックしてみてください！

### STEP 01 情報収集

### STEP 02 林業体験

### STEP 03 就業〜森の担い手へ



## 林業就業支援講習

新たに林業への就業を希望する人を対象に、座学と実習で林業を体験する講習です。知識や技術をじっくりと身につける16日間コースと、作業見学と簡単な体験がメインとなる4日間コースがあります。新潟県では例年16日間コースを春に、4日間コースを秋に実施しています。

その中で、平成28年10月に開催された「4日間コース」について本誌6～7ページで紹介しています。

## WOOD JOB! 森の仕事体験

高校生や大学生、専門学校生を対象にして林業を体験し知ってもらう研修。一泊二日の合宿形式で、将来の仕事について考える貴重な機会になっています。

その中で、平成28年8月に開催された「WOOD JOB! 森の仕事体験」について本誌8～9ページで紹介しています。

## STEP 02 林業体験

機械化が進んできたとはいえ、林業は体力も必要な仕事。実際の作業現場を見学したり体験することで、自分に合っているのか確かめることができます。実際の山の斜面や生い茂る草木の中で仕事をするとすることは想像だけで補えないものもあります。就業後のミスマッチを防ぐためにも、一度体験することをお勧めします。

## 「緑の雇用」現場技能者育成研修

森林組合などの認定事業体に採用された新規就業者が、3年間の研修プログラムの中で林業現場に必要な知識・技術・資格を習得します。研修を終えると「フォレストワーカー」として登録され、これから森で働いていくための下地ができあがります。

その中で、平成28年度の現場技能者育成研修の様子について本誌10～11ページで紹介しています。

また、新潟県内の事業体で働く、森の担い手の様子は本誌12～23ページで見ることができます。

## 森林施業プランナー

持続的な森林経営を推進するため、森林所有者に対して、森林施業の方針や事業収支等を記載した施業提案書を提示してその施業を受託し、その施工管理を行うのが森林施業プランナーです。地域の森林をよく理解し、うまく活用していくための企画力と、それを所有者に伝える提案力が求められます。森林施業プランナーになるためには試験に合格しなくてはなりませんが、その試験合格にも必要なプランナーに求められる能力を身に付けるための研修が毎年開催されています。

## STEP 03 就業〜森の担い手へ

事業体に就業することができたら、現場作業において必要な技術の習得・向上を目指していくこととなります。「緑の雇用」などの研修制度を利用しながら、現場技能者として一人前となり、さらなるキャリアアップの道が開けていきます。

## 林業PRイベント

新潟県の林業をいろいろな人に知ってもらうためのイベントが各地で開催されています。

その中で、平成28年11月に開催された「WOOD JAM」について本誌4ページで紹介しています。

## 就業相談会

求人のある林業事業体と直接相談することができる相談会。仕事内容や待遇など、事業体ごとに違う具体的な情報を知ることができます。

その中で、平成28年11月に開催された「新規就農・就業チャレンジフェア」について本誌5ページで紹介しています。

## 森林の仕事ガイダンス (全国森林組合連合会主催)

林業に興味のある方、就業を希望する方を対象とした説明・相談会。例年1～2月に東京、大阪等で開催されています。林業全般や支援制度について相談できるほか、各地域の実情を知ることができる都道府県ブースや、現場で働く緑の研修生に相談できるブースもあり、幅広く情報収集ができます。



## STEP 01 情報収集

「森の中で働いてみたい!!」そう思ったら、林業について調べてみましょう。書籍やインターネットを利用するのもいいのですが、より詳しく知りたい場合は、林業に関するイベントに参加しましょう。実際に使われる道具・機械を見たり、現場で働く人と直接話したりすることで、森で働くイメージが具体的に広がるはずです。



# 森で働く3ステップ

STEP 01

# 情報収集

## 林業PRイベント

# 「WOOD JAM」

平成28年11月・新潟市にて開催

林業の魅力をいろんな人に知ってもらおう目的で開催



そもそも「林業って何? どんな仕事なの?」という疑問を持っている方も多はず。新潟県内では、林業という仕事とその意味合いをいろんな人たちに知ってもらおうべく、数々のイベントが開催されています。そのひとつとして、昨年11月に行われた「WOOD JAM」取材しました。

毎年、シーズンに先駆けて県内スキー場の情報が大集合するイベント「SNOW JAM」と同時に行われたこの「WOOD JAM」。会場では、林業の仕事を紹介するパネル展をはじめ、実際に県内の森で働く「フォレストワーカー」3人(ひとりには林業女子)をゲストに迎えたトークセッション、チェーンソーやワークウェア等の展示&試着、県産木材を使用した木工体験、就業ガイダンス&相談コーナーと、カジュアルかつ盛りだくさんの内容で来場者の関心を集めていました。特に印象的だったのは、実際に働く人たちが大自然の中で働く喜びを口々に語っていたこと。やっぱりそれが大きな魅力のひとつですね!

## 就業相談会

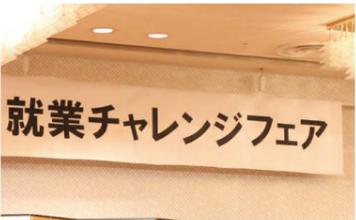
# 「新規就農・就業チャレンジフェア」

平成28年11月・新潟市にて開催

農業・林業合同、求人のある事業者と直接相談できるイベント

右記のような林業PRイベントとは別に、新潟県では、「新規就農・就業チャレンジフェア」と題し、農業・林業合同で、県内事業者の担当者と直接会える就業相談会を開催しています。

下の写真は、昨年11月、新潟市で行われたフェアの様態です。冒頭で新潟県林業労働力確保支援センター・福田所長から県内の林業事情等の説明があり、それに続き、10社近く集まった事業者の担当者が、それぞれ壇上で「やる気のある人材を求む」という趣旨の自社PRを展開しました。会場で配布された資料には仕事内容や待遇など事業者ごとの情報が具体的に記載。さらに、参加者が各事業者と個別に話せる相談会も開催という、まさに生の情報を得られる貴重な機会でした。





**熊倉裕也さん**  
「林業をやっている人は、山に対して熱意がある。僕も将来的に村で森林技術員として暮らしたいので、この経験を仕事に活かしたいです。」



**増子良平さん**  
「思っていた以上に自然の中で仕事をするのは危険なのだ実感。しっかり学んで、的確な現場判断ができる森林技術員になりたいです。」

### 平成28年度林業就業支援講習 (4日間コース)カリキュラム

日程	時間	講習科目	主な講習内容
10月16日 (日)	9:00~12:00	林業の基礎知識	オリエンテーション(日程説明・自己紹介) 林業の魅力と現状(フォレストワーカーの今) 林業の動向・木材供給と林業産業について
	13:00~17:00	安全衛生講習	林業における労働災害の現状と安全衛生対策
10月17日 (月)	9:00~11:00	林業体験	チームワークとコミュニケーションの重要性
	11:00~17:00		鎌及び刈払い機による下刈り作業体験及び見学 ノコギリ・鉋による枝打ち・除伐作業体験
10月18日 (火)	9:00~17:00	林業体験	<b>今回取材した研修カリキュラム</b> ノコギリ・チェーンソーによる丸太切体験及び見学 高性能林業機械による作業の見学 その他各種林内作業の見学
10月19日 (水)	9:00~15:00	林業職場見学	針葉樹合板・バイオマス発電所等見学
	15:00~17:00	就業・生活相談・閉講式	林業への就業相談・生活相談 講習総括・アンケート 修了者証の交付



平成28年10月・五泉市／新潟市にて開催  
**林業就業支援講習「4日間コース」**  
就業希望者に、座学と実技で林業を体験してもらおう講習

Forestry Support Service

森で働く3ステップ

STEP 02

林業体験

その①

### 林業就業支援講習(16日間コース)



新潟県では、16日間コースを春、4日間コースを秋に実施しています。作業見学と簡単な体験がメインとなる4日間コースに対し、16日間コースは、刈払い機やチェーンソーの資格も取得でき、より深い知識や技術を身につけられる内容になっています。

林業現場で行う業務が自分に合っているかどうかは、インターネット等の情報だけでは判断しづらいものです。この「林業就業支援講習」は、林業への就職を希望する人たちに向け、座学と実技で実際に林業を体験してもらおう講習です。新潟県では毎年、4日間コースと16日間コースが行われており、今回は4日間コースを取材してきました。

この日は、カリキュラムの中の「ノコギリ・チェーンソーによる丸太切り」。開始前に1時間ほど座学を行い、丸太を切るための基礎や道具の説明はもちろん、山がいかにか危険な場所であるか、その危険を回避するための退避行動もレクチャー。この実践的な指導こそ実技講習ならではの言葉です。

そして、チェーンソーを使って実際に丸太切りを体験。まずベテランがお手本を披露し、続いて参加者が挑戦。真っ直ぐ切り落とすのは難しい中、構え方や木に刃を当てる位置など細かな指示を受けていくうちに、キレイに切れるようになっていきました。やはり体験は、とても重要。林業を目指す人はぜひ受講してほしい講習だと感じました。



①参加者はいくつかのグループに分かれて行動。現場で活躍する林業の先輩たちが、実際に倒す木の見極め方やノコギリの引き方、倒す方向の決め方などを丁寧に教えてくれます  
 ②まっすぐ育った杉や檜の林に隣接。高さ4~5mほどに育った杉の幼木の林で体験ツアーは行われました  
 ③当日はとても暑い日だったので、水分補給も大切です



## 平成28年度 WOOD JOB! 「青少年森の仕事体験ツアー」カリキュラム

日程	時間	講習科目	主な講習内容
1日目	9:50~	開校式	開会の挨拶~オリエンテーション
	10:00~	講義	森林・林業の基礎知識
	10:50~	見学	木工加工施設見学(山北地区)
	12:10~	昼食	交流の館 八幡にて
	13:30~	体験	間伐体験(村上森林組合) <b>今回取材した研修カリキュラム</b>
	17:30~	先輩体験談	「林業の仕事に就職して」(いわふね森林組合・齋藤さん)
2日目	18:00~	夕食	みどり里交流センターにて~就寝
	7:30~	朝食	みどり里交流センターにて
	9:00~	見学・体験	高性能林業機械作業見学・体験
	11:30~	昼食	みどり里交流センターにて
	12:30~	研修	新潟県森林研究所の概要 研修~農林公社の概要 DVD観賞
	14:00~	就職ガイダンス	就職ガイダンス
	14:50~	閉会式	閉会の挨拶~解散



④実際に林業に携わっている先輩の齋藤さん(いわふね森林組合)。齋藤さんは平成26年のこの研修に参加された ⑤参加者全員で諸先輩方の話を聞く



写真左より、「山北地区の木工加工施設を見学」(1日目)、「高性能林業機械での作業を見学&体験」(2日目)、「新潟県森林研究所の概要を研修」(2日目)



ほんま まさき  
**本間真生さん**  
 「自然が好き」と参加した高校3年生(取材時)。「林業の仕事ってたくさんあって、女性が活躍できる場所もあるんだなと思いました」。



ねだち りゅうと  
**根立龍斗さん**  
 「林業体験は2回目」の大学4年生(取材時)。建築にも興味があり、「製材所で木材加工の現場を見ることができて楽しかったです」。

**WOOD JOB!**  
**「青少年体験合宿」**  
**森の仕事体験**  
 平成28年8月・村上にて開催  
 実体験こそ最高の学習現場。学生が森の仕事を体験

Forestry Support Service  
**森で働く3ステップ**  
 STEP 02 **林業体験**  
 その②

「WOOD JOB! 青少年森の仕事体験ツアー」とは、林業に興味を持つ学生を対象に、一泊二日で山仕事を実際に体験してもらうツアーです。この日、取材で訪れたのは村上北部。日本海の海岸から2~3キロ山間に入った場所でした。話を聞いたお二人(↑)をはじめ、参加者は、午前中に林業の基礎知識を学び、木工加工施設を見学した後、この「間伐体験」の現場へ。間伐とは、一言で言えば成長の良い木を倒すこと。本来、樹の成長が緩やかになる秋から冬に行うことが多い作業ですが、夏休みの体験合宿ということで今回は特別にやっていたいただきました。「周り比べて極端に細い」とか「曲がっている」などの特長から間伐すべき木を見極めることから始め、印を付けた木の根元付近へノコギリを入れて、安全に注意しながら人のいない方向へ倒します。また、実際に林業に携わる先輩方から、体験談や、「今から50年先にこの木や林がどうなっているかを考えながら作業している」などの話も聞けたり、みんな有意義な時間を過ごせたようです。

津南町森林組合  
**八重沢 徹**さん

[年齢:24歳 林業経験:2カ月目]

**自己流を見直す  
貴重な経験に感謝**



知識はもちろんですが、実際に体験しないと覚えられない仕事だと思つたので、ここまでマンツーマンで教えてもらえる機会は本当にありがたいです。林業の仕事に巡りあえてよかったです。空師を目指してがんばります！



いわふね森林組合  
**佐藤拓郎**さん

[年齢:19歳 林業経験:1年目]

**安全面に留意する  
プロの仕事に驚く**



自分は木を伐るだけで精一杯で余裕がなく、こんなに安全面に気をつけて作業することに驚きました。商品として木を丁寧に扱う心構えなど、勉強になることばかりです。忘れないうちにもっと木を伐りたい気持ちです。



**林業作業士(フォレストワーカー)  
1年目研修カリキュラム例**

【安全講習等】

- 普通救命講習
- 刈払機取扱作業
- チェーンソー伐倒等業務
- 玉掛け
- 小型移動式クレーン運転業務
- 走行集材機械運転業務

など

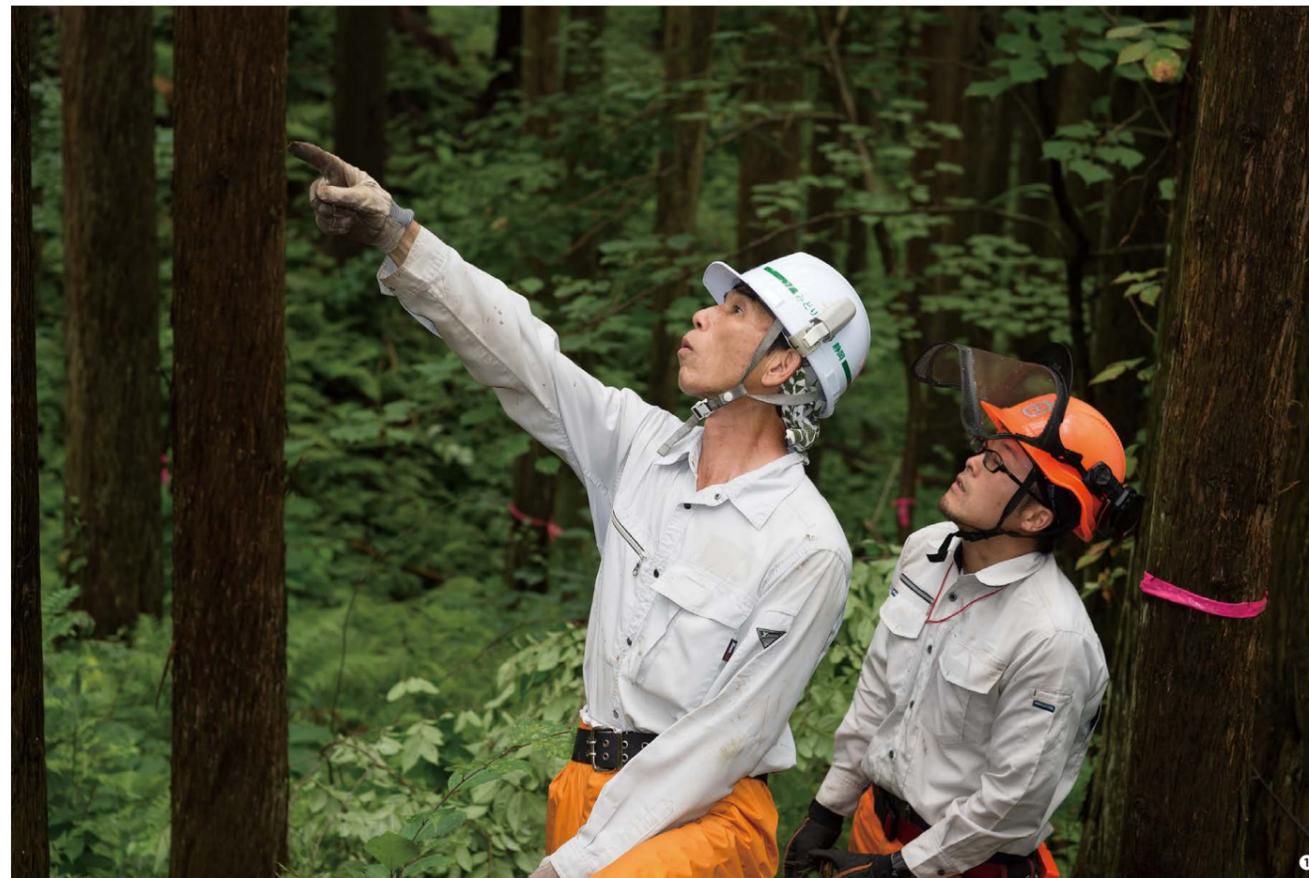
【一般研修】

- 現場作業における安全力
- チェーンソーのメンテナンス
- 鳥獣害対策(わな猟講習)
- 安全な造林作業

今回取材した研修カリキュラム

- チェーンソーによる伐倒・造材・集材作業
- 安全な伐倒作業

など



①厳しくも細やかな指導で、受講生から絶大な人気を誇る、石垣正喜先生 ②伐倒方向を確実にするため、必ず確認を ③米津要先生のチームの皆さんで記念撮影。石垣先生チームの皆さんは表紙に登場！ ④受け口の修正方法を教える、米津先生



「プロの技を十二分に発揮するためには訓練すること。安全面への配慮もとても大事です」と講師の石垣正喜さん。技術はもちろん、プロの仕事の心構えについても、皆さん真剣な表情で聞き入っていました。

この日、取材したのは林業の基本的な知識・技術などの習得のための研修と実地研修を組み合わせた3年間の研修「林業作業士(フォレストワーカー)研修」の1年目を対象とした「チェーンソーによる伐倒・造材・集材作業」と「安全な伐倒作業」の講習です。事業体に勤務する、林業1年生14名が参加し、2グループに分かれてチェーンソーの目立てや立木の伐倒を行いました。

「緑の雇用事業とは、林業事業体に採用された人に対し、同事業体などを通じて講習や研修を行うことでキャリアアップを支援する制度です。林業未経験者でも森林の仕事に就いて、林業で必要な技術を学ぶことができます。」

「緑の雇用」現場技能者育成研修  
「1年目チェーンソー講習」

平成28年7月・柏崎市にて開催

チェーンソーワークの基礎を現場で学ぶ

Forestry Support Service

森で働く3ステップ

STEP 03

就業〜森の担い手へ



もつとカッコイイ林業に!  
若手とともに今、奮い立つ

頸南森林組合は、平成6年に旧新井市、旧妙高高原町、旧妙高村、旧中郷村、旧板倉町の5つの森林組合が合併設立した広域森林組合。管内は豪雪地帯であり、植栽地の森林整備や間伐だけでは年間事業量の確保は難しい状態だ。

組合では、打開策として高性能林業機械の導入と若い人材の採用を積極的に行った。「森林所有者が高齢になってきているので、こちらから提案していかないと森林整備は進みません。これからの若い森林技術員には木を伐るだけでなく、幅広い知識が必要で」と業務課長の岡田勇一さん。

「IT技術や提案営業、そして「カッコいいウェアを着て、カッコいい林業を広めてほしい」と林業のイメージを変えてくれるはずだ。」

現場は長野県境にほど近い、妙高市二俣地区。伐倒を担当する大桃健汰さんは林業2年目。伐倒方向に直角になるようにチェーンソーで受け口の斜め切りを行っていた



①13ページのメイン写真から続く作業。微調整をし、伐倒する方向を決める ②道具にもこだわる大桃さん。使用している林業用巻き尺はオレゴン製のロガーテープ ③大桃さんの倒した木を岡田さんは「80点」と高評価。「効率を重視しながらも、きれいな仕上がりを心掛けています」と大桃さん



緑の担い手を目指そう! にいがた山しごと情報誌  
 Niigata Forestry Magazine vol.5  
 File 01  
 林業事業体レポート ▶  
 頸南森林組合 妙高市



①4トン級フォワーダで材を積み込む大桃さん。重機オペレーターとしても活躍する ②左から八橋一樹さん、大桃健汰さん、岡田勇一さん。八橋さんも大桃さんも「自分たちが組合の流れを変えていきたい!」と話す、頼もしい存在だ。「カッコいい林業」を推進する岡田さんはウェアにもこだわる。「持っている道具や作業服でモチベーションが上がればそれだけ作業効率もあがると思います」。大桃さん着用のSTIHLのジャケットは軽くて機能性も抜群

緑の担い手



**大桃健汰** さん  
Oomomo Kenta  
[年齢:19歳 林業経験:2年目]

こんなにカッコいい仕事はない

「緑の雇用」1年目のときに素晴らしい指導者(10ページの石垣さん)に出会い、早さよりも美しく伐ることを目指しています。林業はどんな仕事より、カッコいい仕事だと思えます。常に自然の中で仕事をするのでリフレッシュできます。今後は特殊伐採にも挑戦したいし、現場に出られない冬期間は「森林施業プランナー」の勉強をして資格を取得したい。やりたいことがいっぱいあります！」



**八橋一樹** さん  
Yatsuhashi Kazuki  
[年齢:31歳 林業経験:3年目]

林業のイメージを変えていきたい

ネットで「これからは林業」という記事を見て、林業に興味を持ちました。インドア派で体力にも自信がありませんでしたが、パソコンでの現場の図面作りなど、IT技術を活用していることも新鮮でした。重機オペレーターの仕事も面白いです。林業の仕事に就いているという「何をやっているの?」「聞かれることが多いので、もっと林業を活発にして、認知度を上げたいです。」



「大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち」

事業体Data



頸南森林組合

住所/妙高市大字志2243番地2 電話/025-572-3379  
設立/平成6年 資本金39,013千円  
従業員数/35人(森林作業員20人・公園管理5人)  
勤務時間/8:00~17:00 主な勤務地/妙高市、上越市  
主な従事業務内容/森林整備、道路除雪

事業主コメント 頸南森林組合 代表理事組合長 田中新一さん

時代の流れとともに森林組合の仕事も変わってきましたが、「仕事は明るく、楽しく、元気よく」をモットーに、厳しい現状にも前向きな姿勢で取り組みたいと思っています。職人を育てていくため若い人を積極的に採用しています。元気がよすぎる人もいますが(笑)、期待しています。



①プロセッサで伐倒した木を造材する。組合ではグラブ2台、フォワーダ2台を所有し、作業の効率化を図る  
②プロセッサのオペレーターの八橋一樹さんは3年目。「思い通りに動かせると面白いです」  
③7.23ヘクタールの山の間伐と造材を大桃さんと八橋さん達だけで行うにはチームワークが大切  
④期待の新人2人をまとめる岡田さん。「今後は地元の材を地元で活用していきたい」

河川の床固めに広く施行される粗朶沈床。粗朶沈床を陸上で制作し、大型クレーンで一挙に川に浮かべる



# 全国・世界へ、未来へつなぐ 伝統工法「粗朶沈床」

粗朶沈床の取り組みは、川の生態系を確保し、粗朶山として利用される山も活性化。このような形で人と自然が共生する環境を提供する林業の存在をぜひ知ってほしい。

「粗朶(そだ)とは落葉広葉樹の枝と幹を束ねたもので、粗朶を束ねて格子に組んで石を詰め込み、川底に沈める治水工事を粗朶沈床という。コンクリートブロックを使う工法に比べ、自然素材を使う粗朶沈床は川床への馴染みややさや安全面でメリットが大きい。また、粗朶は数年経つと川床に追随し、同化するものである。生態系を守る環境保全の面からも近年、注目を集めている。

若月建設は4代続く「粗朶屋」。現在、取締役の若月学さんが地元に戻ってきた頃の河川工法はコンクリートが主体。粗朶がなくなる危機感を感じた社長が昭和58年に「新潟県粗朶業協同組合」を設立した。現在は全国各地へと粗朶施工に赴く中、海外でも粗朶工法の指導も行う。「途上国に粗朶工法の技術を教えることは大きな喜びです。林業をもっと夢や喜びのある産業に変えていきたい」と若月さん。



①若月建設に近い新発田市赤谷にある粗朶山。巨木を伐採するのと違い、ナラ、ホオノキ、クリ、モミジなど落葉広葉樹の幹や枝を束ねていく。粗朶は昔話の「シバ刈り」のシバにあたる ②昭和30年代から若月建設で粗朶作りをしている二瓶峯雄さんは80歳

緑の担い手を目指そう! にいがた山しごと情報誌  
Niigata Forestry Magazine vol.5

林業事業体レポート ▶

File  
02



# 若月建設 株式会社

新発田市



①粗朶沈床は明治初期にオランダから日本に伝えられた。「柵掻き(しがらぎ)」と呼ばれる組み立て作業はすべて手作業で行われる ②結束台で長さをそろえた粗朶を結束することを「粗朶束(まるけ)」という ③葉が落ちてから芽吹く前に木を切ると品質が向上し、良くなる粗朶ができる

緑の担い手



**黒井孝**さん  
Kuroi takashi  
[53歳 林業経験14年目]

粗朶のような緑の下の力持ちに

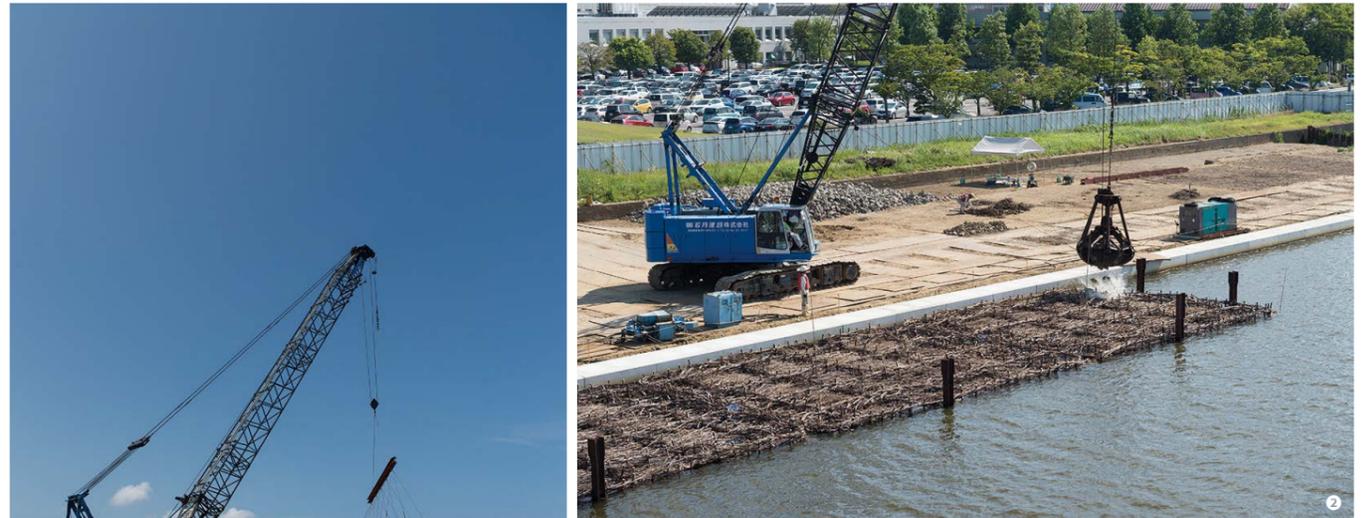
以前は建設会社で土木関係の仕事をしていて、入社して初めて粗朶沈床を知りました。今は土木事業と粗朶沈床の現場監督や作業の段取りを担当しています。ラオスにも技術指導に行ってきた。粗朶沈床は川底に沈められるので目につかないけれど自然を守りつつしっかりと川底を支えているのが魅力だと思います。私もそんな緑の下の力持ちのような存在になりたいですね。



**肥田野彰智**さん  
Hidano akitomo  
[34歳 林業経験4年目]

充実感をもって働けます

自然が好きで、趣味は山登りとスキー。サービスマンで働いていましたが、自然の中で働ける仕事を探していたときに、林業就業支援講習を受けました。現場で汗をかいて働く、今の仕事はとても達成感があります。自然の中で働いていると人間らしい生活をしている気がしますよね。今後は森林施業プランナーをはじめ、林業の資格を取得し、幅広い仕事ができるようになりたいです。



①粗朶の中に仕掛けておいたワイヤーを引っ掛けて大型クレーンで吊り込む ②粗朶を沈設していく。二日間で7枚の粗朶を組み立て、水深2.8メートルの場所に沈めた ③沈設後は、粗朶が浮いてこないように沈石を投入

「大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち」

事業体Data



若月建設株式会社

住所/新発田市小戸886-1 電話/0254-31-4111  
設立/平成6年 資本金/2千万円  
従業員数/18人(森林部門15人)  
勤務時間/8:00~17:00 主な勤務地/新発田市  
主な従事業務内容/粗朶の生産及び販売・粗朶工法の施工、土木事業

事業主コメント

若月建設株式会社 取締役 若月 学さん



平成8年に多自然型川づくりが建設省(現国土交通省)から全国通達され、粗朶沈床が見直されてきました。山で作られた粗朶が都市の中に生きていて、人々の生活を支えていることを多くの人に知ってほしい。今後も環境をキーワードに地域密着型で自立できる林業、付加価値の高い林業を目指します。



①左から森林技術員の樋口長一郎さん、八重沢徹さんと現場管理の山田雄二さん。組合では冬期間は森林事業を休む。この日はことしの森林整備最終日で小雨が降る中、樋口さんと八重沢さんの二人が丁寧に伐採作業を行っていた ②「木を倒す方向が予想したとおりうまくいったときはうれしい」と樋口長一郎さん



津南町赤沢地区の保育間伐現場。根曲がりの木を水平な切り口で伐る森林整備員の樋口長一郎さん

# 地域林業の活性化を目指し きのこ事業・食品加工でサポート



新潟県の南部にあり、豪雪地帯として知られている津南町。豪雪に耐えた木は粘り強く、年輪の美しさも格別だが、根曲がりや成長速度の面からも森林事業で収益を上げるのは厳しい。そこで組合では昭和44年から山菜加工事業を開始。昭和61年から始めたなめこ事業は、今では「培養センター」と「生産工場」を管理し、11の津南生産者団体と組合の計12団体がなめこを生産。森林業の特性を活かして県内から調達した広葉樹からオガ粉で培地を作り、培養・収穫・出荷販売まで一貫して行っている。

今後の課題は森林部門の強化。「美しい津南町を守るために森林整備と環境保全を継続すると組合長の涌井九八郎さん。平成23年には間伐した森林から吸収される二酸化炭素を企業に販売し、森林整備に役立てる「カーボンオフセット事業」に着手。森林所有者の整備負担減と地球温暖化対策としても大きなメリットが期待できる。また、首都圏で新規林業就労者を募集するなど、若き林業後継者の育成にも積極的だ。

緑の担い手を目指そう! にいがた山しごと情報誌

Niigata Forestry Magazine vol.5

林業事業体レポート ▶

File 03



## 津南町森林組合

津南町



①越後杉認証生産工場も併設している ②「培養センター」ではオガ粉に栄養や水分を加えた培養基を作り、培養基を瓶に充填する作業などが行われる ③食品工場で作られた山菜やきのこ類の加工食品。きのこ事業と食品事業は地域の雇用確保に大きく貢献している ④出荷を待つ、なめこが並ぶ「なめこ生産工場」

緑の担い手

「大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち」



**樋口長一郎さん**  
Higuchi cyoichiro  
[65歳 林業経験15年目]

山の成長を見守る楽しみ

50歳から林業の仕事を始めました。6月から11月までの期間限定の季節雇用ですが、林業の仕事は厳しい肉体労働の中にもいろいろな楽しさがありますね。まず、山の中はとても静かで心が落ち着きます。山の地形を見ながら自分なりに効率を考えて自分のペースで仕事ができるのも良いです。いろいろな現場に行きますが、何年後かに山の成長を見られることも楽しみの一つです。



**山田雄二さん**  
Yamada yuji  
[43歳 林業経験18年目]

新しい森林整備を提案する

地元の津南出身です。林業に関わっていきたくという思いからこの仕事に就きました。森林木材部で森林管理を担当していますが、残念ながら森林部門の規模はどんどん縮小化されてきています。私は今、森林施業プランナーの資格取得を目指して勉強中です。合格したら森林所有者さんたちに地域の森林管理を実現する、提案型集約化施業を薦めていきたいと思っています。



①チェーンソーで木を切る八重沢徹さんは入社1年目。10ページのチェーンソー研修にも参加している ②安全に確実に伐倒するためにはくさびの使用は欠かせない。ハンマーで打ち込んで伐倒する ③倒した木を一定の間隔で玉切りしていく ④今日の現場は1.3ヘクタール。根曲がりの木が多いのは豪雪地帯ならではの

事業体Data



**津南町森林組合** <http://tsunan-fa.or.jp/>

住所／中魚沼郡津南町大字中深見乙2176  
電話／025-765-2510 設立／昭和42年  
資本金／1億9,808万円  
従業員数／147人(森林部門9人) 勤務時間／8:00～17:30 主な勤務地/津南町  
主な従事事業内容／森林整備、木材加工、食品製造販売、きのこ培養・生産・販売

事業主コメント 津南町森林組合 代表理事組合長 涌井九八郎さん

津南町は全国名水百選に選ばれるほど湧き水の多いところ。かつて先人たちが土地を出し合って木を植え、水と緑を守ってきたことが基盤になっているのでしょう。そんな先人たちの思いを継続するためにも森林整備の啓発活動に力を注ぎ、次の世代につないでいくことが私たちの役目だと思います。





2017年1月30日 発行

発行・監修／公益社団法人 新潟県農林公社「新潟県林業労働力確保支援センター」  
〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2 公社総合ビル4階 ☎025-285-7712

編集／株式会社ジョイフルタウン  
〒951-8544 新潟市中央区白山浦1丁目613 ☎025-233-4501  
Coordinator: 笹川清彦  
Writer: 桑原知子  
Photographer: 中沢真二、堀川直人、小柳一弥  
Design: 藤間絵美、弦巻 剛  
Accountant: 山田節子  
Producer: 棚橋和博

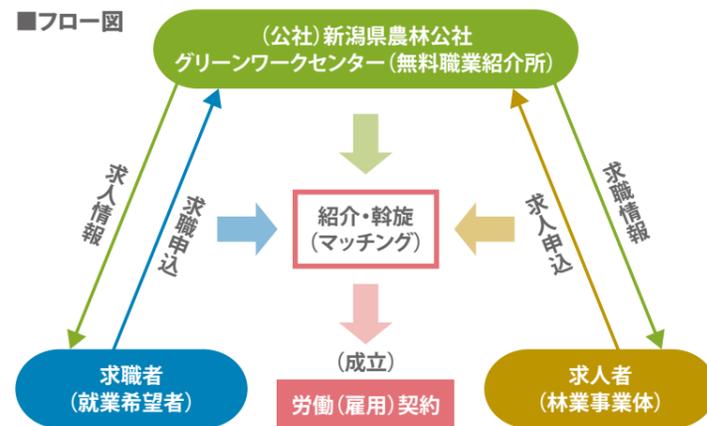
印刷／株式会社 第一印刷所

【本書の一部あるいは全部について、無断で複写、複製、転載することを禁じます】

# 林業労働力確保支援センター

緑の担い手を目指す人の相談窓口

新潟県の山・森林で働きたい！  
そんな人のための相談窓口が林業労働力確保支援センター。  
林業就業に関するお悩みにお答えします。  
本誌で紹介した相談会やイベント等で相談を受け付けている他、  
お電話や、ホームページのお問い合わせフォームでの相談も随時受け付けています。  
また、当センターは無料職業紹介所(グリーンワークセンター)として  
林業に関する求人情報も扱っており、ホームページにて見ることができます。  
まずはお気軽にお問い合わせください。



厚生労働大臣から  
職業安定法第33条の許可を得て  
新潟県内の農林業の無料職業紹介所を開設しています。

グリーンワークセンター  
(無料職業紹介所)

<お問い合わせ先>

公益社団法人 新潟県農林公社 林業労働力確保支援センター

住所／新潟市中央区新光町15-2 新潟県公社総合ビル4階  
電話／025-285-7712 FAX／025-285-5070  
URL／http://www.niigata-rinrou.com/



# 新潟県 認定事業体一覧

平成28年12月31日現在

## ■認定事業体とは……

林業に従事する中で、雇用管理の改善と事業の合理化などの「改善計画」を作成し、新潟県知事の認定を受けた事業体のことです。

### 【森林組合】

1 村上市森林組合	村上市府屋121番地2 0254-77-3121
2 いわふね森林組合	村上市羽黒町2番38号 0254-52-1593
3 関川村森林組合	岩船郡関川村大字上関1021番地3 0254-64-1249
4 さくら森林組合	新発田市中倉48番地2 0254-29-0600
5 東蒲原郡森林組合	東蒲原郡阿賀町両郷乙515番地 0254-95-2016
6 中蒲みどり森林組合	五泉市村松工業団地2丁目1566番地2 0250-58-7824
7 南蒲原森林組合	加茂市大字下高柳字出戸1番地1 0256-53-0080
8 中越よつば森林組合	長岡市雲出町字前田4421番地 0258-21-4525
9 柏崎地域森林組合	柏崎市三和町9番22号 0257-22-6212
10 魚沼市森林組合	魚沼市細野208番1 025-797-2142
11 湯之谷地域森林組合	魚沼市湯之谷芋川1568番地 025-792-2562
12 南魚沼森林組合	南魚沼市舞子1819番地 025-783-3349
13 十日町地域森林組合	十日町市大黒沢1789番地1 025-758-3115
14 津南町森林組合	中魚沼郡津南町大字中深見乙2176番地 025-765-2510
15 ゆきぐに森林組合	上越市大島区棚岡1569番地1 025-594-2041
16 くびき野森林組合	上越市青野2741番地 025-520-6200
17 頸南森林組合	妙高市大字志2243番地2 0255-72-3379
18 めながわ森林組合	糸魚川市南押上2丁目13番6号 025-552-1533
19 両津東部森林組合	佐渡市下久知572番地13 0259-27-7156
20 新穂森林組合	佐渡市新穂瓜生屋666番地2 0259-22-2027
21 佐渡森林組合	佐渡市千種247番地1 0259-63-4164
22 南佐渡森林組合	佐渡市羽茂本郷1921番地1 0259-88-2017

### 【その他認定事業体】

23 岩佐木材有限会社	村上市府屋197番地11	0254-77-2041
24 有限会社みつば	村上市杉平173	0254-77-2149
25 高根生産森林組合	村上市高根804番地1	0254-73-0265
26 株式会社中嶋木材	村上市早稲田1049-1	0254-75-5627
27 有限会社山作	村上市山屋1715番地2	0254-66-7345
28 有限会社丸実	村上市桃川1085番地1	0254-66-5628
29 カネが渡辺建材株式会社	村上市今宿45番4	0254-66-5328
30 有限会社阿部林業工務店	村上市松沢143番地	0254-66-6440
31 若月建設株式会社	新発田市小戸1305番地	0254-31-4111
32 有限会社中惣林業	東蒲原郡阿賀町綱木2029番地	0254-99-3446
33 有限会社馬場工務店	東蒲原郡阿賀町細越534番地	0254-99-3592

34 株式会社マルワイ	東蒲原郡阿賀町日野川乙1889番地	0254-95-2264
35 新潟県森林組合連合会	新潟市西区曾和521番地3	025-261-7111
36 株式会社マルユー	五泉市上大蒲原1530	0250-58-8688
37 株式会社戸田組	魚沼市津沢204番地8	025-792-0417
38 有限会社グリーンチップ	魚沼市十日町2194番地1	025-792-3324
39 株式会社村山土建	十日町市山本71番地1	025-752-3721
40 株式会社見晴屋林業	南魚沼郡湯沢町大字三国1102番地1	025-789-3493
41 株式会社いぶき	上越市頸城区百間町592-6	025-530-4480
42 株式会社牛木組	上越市名立区名立大町1630番地1	025-537-2316
43 株式会社和信建設	妙高市大字杉野沢1675番地1	0255-86-6245
44 カネヨ運輸株式会社	糸魚川市大字須沢3413	025-552-2520
45 株式会社大坪土建	佐渡市河原田本町153-1	0259-52-7880



★新潟県の林業に興味を持った方は

公益社団法人 新潟県農林公社「新潟県林業労働力確保支援センター」のHPをチェック!!  
<http://www.niigata-rinrou.com/>

新潟 林業 センター